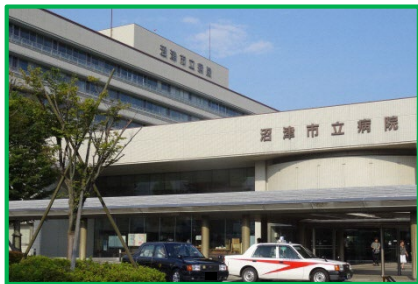


- 足柄スマートICを利用し第三次医療施設までの**救急搬送時間が5分短縮し12回の搬送を実施**
- アクセス時間の短縮により、多量出血による死亡リスクが低減
- 搬送時間短縮により、患者の負担軽減や搬送時間のずれの解消に繋がる

■救急医療施設への搬送時間

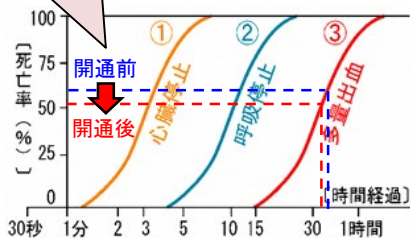
沼津市立病院



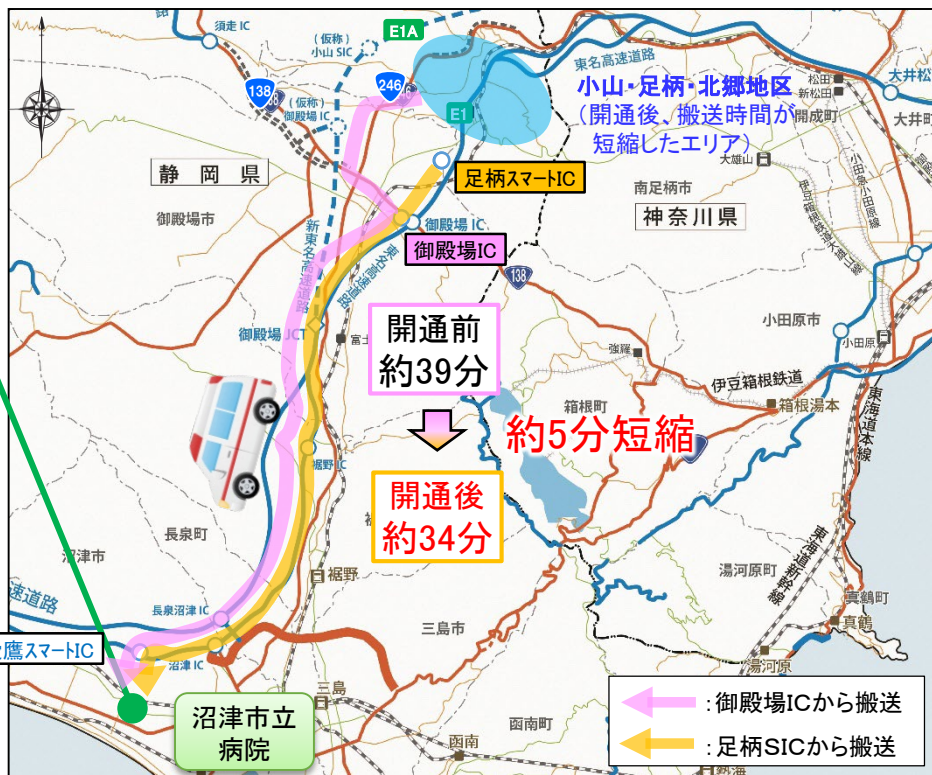
＜カーラーの救命曲線＞

カーラーの救命曲線では**多量出血後約30分で死亡率50%以上となる**

死亡リスク低減



- ①心臓停止後約3分で50%死亡
- ②呼吸停止後約10分で50%死亡
- ③多量出血後約30分で50%死亡

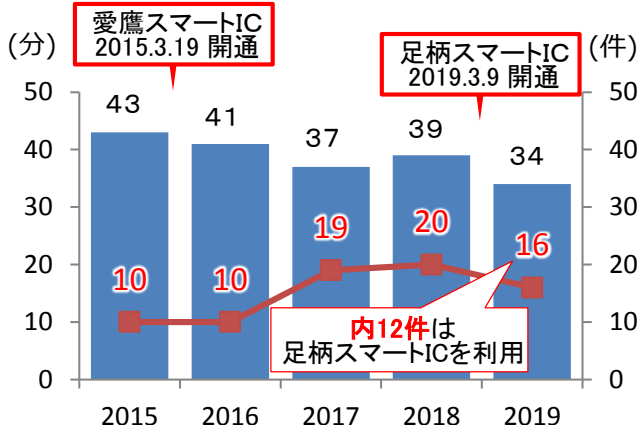
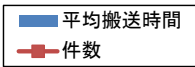


出典：小山消防署データ(小山町の小山・足柄・北郷3地区)
 開通前：2018.4.1～2019.3.8の平均搬送時間
 開通後：2019.3.9(スマートIC開通日)～2019.12.31の平均搬送時間

■搬送時間短縮効果

＜沼津市立病院までの平均搬送時間＞

スマートIC整備により**救命率向上**



出典：小山消防署データ(小山町の小山・足柄・北郷・須走4地区)
 ※2019年については2019.3.9～2019.12.31の足柄スマートIC利用時の平均搬送時間、搬送件数

小山消防署

—消防署コメント(2019.7.25)—

小山・足柄・北郷地区の重篤患者の方を緊急搬送する場合、沼津方面の第三次医療施設である沼津市立病院等に搬送しています。足柄スマートIC開通前は、この地区からの緊急搬送に東名高速の御殿場ICを利用しており、インターまでに時間を要してしまうことや、病院へ伝える搬送時間に狂いが生じていました。

足柄スマートICを利用することで高速までのアクセス時間が**最大約5分短縮**され、**患者さんへの負担軽減に繋がっています。**

また、搬送時間が読めるようになり、病院へ伝える**搬送時間のずれが少なくなりました。**

